

2024 年度版

社会福祉学科  
総合型選抜入試課題

次の課題A・B・Cから1つ選び、700字～800字であなたの考えを述べなさい。

○手書きの場合

「課題レポート（エントリー時提出）に記入し、記入欄が不足する場合は、別紙（記入欄をコピーしたもの）を使用してよい。（鉛筆不可）

○パソコンで作成する場合

Windowsで扱える文書ファイル（ワード、テキスト等）で作成し、A4縦用紙に横書きする。ただし、行・間隔等の指定は特にありません。

※氏名、課題A、B、Cを明記してください。

## 【A】

### SDGs の目標と温暖化対策について

SDGs とは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。

その取組み目標の中に、身近な問題の「プラゴミ対策」があります。

特に身近なプラスチックごみ(プラごみ)は、17 の大きな目標の 12～15 が関係しています。ゴミが山や川そして海に捨てられたり、スーパーやコンビニ、ファミレスなどでのレジ袋やプラスチック製の飲料コップなどがゴミ化し、あらゆるところに投棄され、浜辺には数多くのゴミが打ち上げられています。2019 年の 1 年間で排出したプラスチックは、およそ 850 万トンにのぼります。また、海を漂流するレジ袋やプラごみも年々増え、浮遊し、分解されやがて微小のマイクロプラスチックとなり消えることはありません。

その間、魚や海洋動物が誤食し、それが原因で死んでしまう海洋生物が大きな社会問題となっています。また近年、世界では北極などの氷山が溶ける速度が加速、気候変動にも影響、熱波での不作や海水温の上昇による堤防の氾濫、暑さが 40 度を超える日が何日も続くなど、日本においても異常気象が日々報道されています。

このように、世界的な気候変動は、生きる全ての生物に大きな影響を与えています。

また、魚介類を食する人への健康被害の影響も懸念されています。

今や、人間にとっても温暖化対策は待ったなしで、各国の喫緊の大きな課題となっています。特に長崎県は、海と島々に囲まれており、海洋ごみが大きな問題となっています。

#### 【課題】

(1) SDGs とは

(2) 自分そして家庭、学校、地域でできるプラごみ対策について

(3) イギリスの産業革命とロンドンを覆いつくした酸性霧について

以上、3 点について、あなたの考えを 700 字以上 800 字以内で書いてください。

## 【 B 】

### 「認知症基本法」成立、社会活動の機会確保を盛る

認知症に関する初の法律「認知症基本法」が14日、参院本会議で全会一致で可決、成立した。社会活動に参加する機会の確保など様々な認知症の施策に取り組み、認知症の人が暮らしやすくするのが狙い。「世界アルツハイマーデー」の9月21日を「認知症の日」と定めるとした。

新法には、国民の責務として「共生社会実現への寄与」を盛り込んだ。認知症施策の基本理念として、全ての認知症の人が自らの意思で日常生活や社会生活を営める▽社会のあらゆる分野の活動に参画する機会の確保——などを掲げた。

また具体策として、バリアフリー化の推進▽意欲や能力に応じた雇用の継続、就職に資する施策▽保健医療、福祉サービスの切れ目ない提供▽認知症の早期発見、早期診断、早期対応を推進——などを挙げた。政府には、具体的目標や達成時期を入れた基本計画をつくるよう義務づける。自治体にも計画策定の努力義務を課す。

厚生労働省の推計では、認知症の人は2025年に高齢者の約5人に1人、約700万人に達する。増加する認知症の人や家族を社会がどう支えるかが課題だ。政府は19年の認知症施策推進大綱で、「共生」と「予防」を施策の両輪に位置づけた。一方、新法は「共生社会の実現」を明確な目的に掲げ、予防は施策の一つとした。

(朝日新聞 朝刊総合 2023年6月15日)

#### 【課題】

誰もが認知症になっても自分らしく暮らせるためには、どのような環境の整備が必要ですか。具体例を交えて700字以上800字以内であなたの考えを書いてください。

## 【 C 】

### 社説「ひきこもり支援 本人や家族を孤立させぬよう」

ひきこもりは、今や性別や年代にかかわらず、社会が直面する深刻な問題である。本人や家族を孤立させないよう、支援することが大切だ。

内閣府は、15～64歳の国民のうち、外部との交流が少ない「ひきこもり」の状態にある人は、推計146万人に上っているという調査結果を発表した。

今回の調査は初めて、若者から中高年までの幅広い年代を対象に実施した。かつては若者の問題だと捉えられてきたが、長期化、高齢化が目立っているからだ。

調査結果によると、ひきこもりの人は、若い世代にも中高年にも2%ほど存在している。今までは男性のイメージが強かったが、女性も少ないわけではなく、40～64歳は52.3%が女性だった。

146万人は推計値で、実際にはもっと多い可能性もある。ひきこもりは、本人だけでなく家族も苦しい思いをしている。

ひきこもり状態になった主な理由としては、不登校や退職、人間関係のつまづきが目立っている。新型コロナウイルスの流行を理由に挙げる人もいた。

ひきこもりは自己責任で片付けられがちだ。しかし、多くの人が就学や就労をしないまましているとしたら社会的損失は大きく、個人の問題では済まされない。

近年、高齢の親が中年になったひきこもりの子を支える「8050問題」が社会問題化している。親が亡くなると生活に困窮するため、一段と深刻になる。

亡くなった親の遺体をそのまま自宅に放置して、ひきこもっている人が死体遺棄罪に問われる例が後を絶たない。ひきこもりを巡る親子間の殺人事件も起きている。家族が孤立した末の悲劇で、痛ましいというほかない。

また、親の弱みにつけ込んで高額な費用を要求し、ひきこもりの人を強制的に自宅から引きずり出す悪質業者も問題になっている。強引な手法は精神的ダメージをさらに悪化させる。本人の意思を無視した対応は避けるべきだ。

外部との接触に慣れてもらうには、地域の居場所づくりがカギになる。インターネットに親しんでいる若い世代には、オンライン交流会の開催も効果的だろう。

本人が働くことを望んでも、受け皿がなければ難しい。コロナ禍でテレワークが普及した今、企業はネットを活用した就労機会の創出も検討してはどうか。

国や自治体、民間が協力し、社会復帰へのきっかけづくりに取り組んでもらいたい。

読売新聞 2023/05/23

社説：ひきこもり支援 本人や家族を孤立させぬよう

#### 課題

1. ひきこもりがどのような問題を引き起こしていますか。
2. 記事を参考に、あなたが、考えるひきこもり支援について

以上、2つの課題について700字以上800字以内で書いてください。



